

1. 施設概要

施設名	高知市立龍馬の生まれたまち記念館			施設所管課	観光振興課
指定管理者名	入交住環境株式会社				
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	公募・指名の別	公募		
設置目的	坂本龍馬とそのゆかりの先人を顕彰するとともに、龍馬を愛する人々が交流し、及び市民が龍馬の生まれ育ったまちへの愛着と誇りをもって地域活動を推進する場を提供することにより、観光の振興及び豊かな地域社会の形成に寄与するため、高知市立龍馬の生まれたまち記念館を設置する。				
業務内容	1. 記念館事業の運営に関すること 2. 施設の使用に関すること 3. 施設及び設備の維持管理に関すること 4. 管理運営のための体制の整備に関すること 5. 利用料金に関すること				
施設内容	1階 展示室・多目的室・交流サロン・ミュージアムショップ・事務室 2階 展示室・ふれあいホール・和室（A・B） 駐車場 14台（内12台分は貸貸駐車場）				
職員体制	常勤： 5人	非常勤： 3人	その他： 人	合計： 8人	

2. 利用状況

	H23年度（1年目）	H24年度（2年目）	
利用者数	展示館 68,353人	展示館 52,314人	
	ふれあい 14,521人	ふれあい 15,171人	
開館日数	366日	365日	
利用率	展示館 136.0%	展示館 141.5%	
	ふれあい 58.8%	ふれあい 60.1%	
事業開催数	50回（201日）	53回（206日）	

※ [利用率算出方法の説明]：展示館 入館者数÷入館目標者数  
ふれあい 貸室利用件数÷（貸出区分(朝・昼・晩)×開館日数)

3. 収支状況

単位：千円

	H23年度（1年目）	H24年度（2年目）	
収入	指定管理料	14,718	18,093
	利用料金収入	16,559	12,783
	事業収入	3,846	2,819
	その他	0	0
	収入計	35,123	33,695
支出	管理運営費	12,845	11,704
	人件費	19,429	16,810
	その他	0	0
	支出計	32,274	28,514

4. 運営状況指標

	H23年度（1年目）	H24年度（2年目）	
①事業収支（収入－支出）	2,849千円	5,181千円	
②利用料金比率	47.1%	37.9%	
③人件費比率	60.2%	59.0%	
④外部委託費比率	13.1%	14.8%	
⑤利用者1人あたり管理費	389円	423円	

5. その他特記事項

--

6. 評価結果

(1) 総合評価（審査委員会評価）

年度	総合評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
23	S	施設の維持管理面において別段問題も無く、ワークショップなどの新たな事業展開も行なわれるなど、従前からの指定管理者としての実績を活かして良好な管理運営がなされていると考えます。引き続き地域との連携の下で、さらに特色ある施設運営がなされるよう期待します。
24	S	龍馬伝ブームが一定落ち着き入館者数や利用料金収入が減っている中、管理運営費や人件費の縮減により収支のバランスを維持していることは評価できます。また、施設の維持管理面においても別段問題もなく、良好な管理運営がなされていると考えます。引き続き地域との連携の下で、リピーターを作り出す新しい仕掛けに取り組むなどさらに特色ある施設運営がなされるよう期待します。

(2) 1次評価（施設所管課評価）

年度	1次評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
23	S	企画展や各種イベントの充実を図るとともに、記念館を知ってもらうための取組みとして、新たに趣向を凝らしたワークショップを実施するなど、入館者の増加のため積極的な取組みが行われている。また、地域とのつながりを大切にしている姿勢や取組みは高く評価できる。
24	S	龍馬伝ブームが一定落ち着く中で、パネル展示が主体の施設として年間5万人超の来館者を継続しているのは評価に値する。館主催のワークショップの開催を増やす等、館の認知度アップのために限られた広告宣伝費の中でもPRに努めており、工夫した取り組みを行っている。また、管理運営費や人件費を縮減し、適正な運営を行っており企業努力が伺える。人権、接遇、歴史研修等も積極的にを行い、また防災研修を地域と連携して行うなど、館を取り巻く環境をよく理解して運営している。

(3) 自己評価（指定管理者自己評価）

年度	自己評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
23	S	企画展（7回）とイベント（43回）により利用者の満足度向上・利用者増に努めた。企画展関連イベント（粘土教室・尾戸焼染付教室・講演会・ぬり絵セラピー・ぬり絵コンテスト）や体験型イベント（むかし遊びづくり、ゆずの木でスプーン&おはしづくり、尾戸焼絵付け体験）など観光客と地域住民が共に楽しみ、リピーターへとつながる企画づくりに取り組んだ。また地元中学・高校・大学の実習受け入れや町内版・土佐っ歩など地域との連携、県・市・関係団体とのイベント連携（ウォーキングイベントや高知・志5館セット券）など、利便性・サービスの向上に努めた。災害時対応マニュアルの作成や地震研修など非常事態に備えると共に、日常的巡視による施設の安全安心を心掛け、また利用者の立場に立った柔軟な対応やサービスの改善・向上に努めた。
24	S	市民団体と共催した企画など多様な企画展（5回）、県内美術作家と木工作家による作品展、子供から大人まで幅広い年齢層が楽しめるイベント（47回・企画展関連イベント：長次郎まんじゅうのおもてなし、体験型イベント、お正月イベント：七草粥のふるまいなど）を実施。年間を通じて多彩な内容をバランスよく組み、来館者や市民に親しまれる施設づくりへの取り組み・魅力ある運営に努めた。アンケートでは「とても良い」「良い」の評価が97.8%であり、一定の利用者ニーズを満ちし、良好なサービスが提供できた。今後も利用者の声に適切に対応し、サービスの水準確保や適切な管理運営に反映させるよう努める。ホームページやフェイスブックなどを活用した広報活動や、地元小学校・老人福祉施設へのPR活動など、幅広い誘致活動を積極的に実施した。施設設備の老朽化が進む中、不具合箇所の交換・修繕を実施し、安全な施設管理に努めた。

7. 評価シート（自己評価・1次評価）

(1) 履行の確認

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業、業務の履行状況				
使用許可等		使用許可等申請,受付は利用統計等が作成され,適正に行われているか。	3	3
利用料金等の徴収状況		徴収,減免,還付等は帳簿等が作成され,適正に行われているか。	3	3
平等利用の確保		施設利用者の平等を確保しているか。	3	3
苦情・要望への対応		苦情・要望処理の処理は適切か。	3	3
職員配置		基準に基づき,適切な人員配置がされたか。	3	3
職員研修		従業者に対し,施設の管理運営に必要な研修は実施されたか。	3	3
事業計画書		指定管理業務が事業計画書に沿っているか。	3	3
事業実施状況		事業の実施は仕様書等に適合しているか。	3	3
法令の遵守		法令に基づく検査,届出等はなされているか。	3	3
緊急時の対応		緊急時のマニュアルが整備され,従業者訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	3	3
保険加入		仕様書等に定める保険に加入しているか。	3	3
個人情報		個人情報の取扱い,従事者への研修,漏洩した場合の対策がとられているか。	3	3
情報公開		保有する文書が分類・整理され,閲覧等の請求があった場合にに応じているか。	3	3
その他管理運営に関し必要な業務		ホームページの作成及び更新,必要な許認可等の取得,監督官庁への届出を必要に応じて行っているか。	3	3
②施設の維持管理				
施設・設備の維持管理		施設・設備の維持管理基準が守られ,不具合が生じた場合は速やかに報告・対応しているか。	3	3
清掃業務の実施状況		清掃は確実にこなされているか。	3	3
警備業務の実施状況		マスターキー等の管理,警備業務は適切に行なわれているか。	3	3
廃棄物処理業務の実施状況		廃棄物処理は適切に行なわれ,運搬・処理を委託する場合は許可業者と契約しているか。	3	3
外部委託の実施状況		過度な外部委託は行なわれていないか。	3	3
備品管理等の実施状況		備品の管理・点検・保守は適切におこなわれているか。	3	3
20項目×3点=60点			60	60
			/	/
			60	60

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ,適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず,簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず,早急な改善が必要である。

(2) サービスの品質

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①維持管理業務				
経費節減の取り組み		設備管理・修繕等が計画的に実施されているか。	4	4
備品等の管理		備品等の保守点検・補充は計画的に実施されているか。	4	4
施設維持管理		施設の維持管理の内容は適切か。	4	4
②運営業務				
利用案内		パンフレット・施設内利用案内・行事開催案内等は判り易く,使い易いものになっているか。	4	4
職員の接客態度		各担当者の接客態度は良好か。	4	4
利用者満足度の把握		利用者アンケートが実施され,運営に反映されているか。	4	3
利用促進に向けた取り組み		利用者の増加や利便性を高めるための取り組みが行なわれているか。	4	4

各種事業の内容	各種事業（講座・イベント等）は施設の設置目的に合致した事業であり,利用者が満足できる内容であったか。	4	4
利用者へのサービスの向上	各種事業（講座・イベント等）は利用者へのサービスの向上につながったか。	4	4
地域等との連携	地域や関係団体,類似施設との連携を考慮しているか。	4	4
10項目×4点=40点		40	39
		/	/
		40	40

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ,優れていると認められる。
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ,適正であると認められている。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず,簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず,早急な改善が必要であり,目標の全面的な見直しが必要である。

(3) サービスの安定性

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業収支の状況				
事業収支		事業収支が赤字の場合,黒字化のための改善策が実施されているか。	3	3
人件費比率		支出に占める人件費の割合が減らされすぎているか。	3	3
外部委託費比率		支出に占める外部委託費の割合が過度に偏っていないか。	3	3
3項目×3点=9点			9	9
			/	/
			9	9

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく,経営がなされている。
2	事業計画・収支計画等に基づく,経営がなされているが,簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく,経営が殆どなされておらず,早急な改善が必要であり,業務の全面的な見直しが必要である。

(4) 評価

評価分類	配点	換算率	総評点	ウェイト	1次評価 評点	1次評価 換算後 総評点数	評価
(1) 履行の確認	60	×0.42	25点	50%	60	25	S
(2) サービスの品質	40	×0.50	20点	40%	39	19	
(3) サービスの安定性	9	×0.60	5点	10%	9	5	
合計	109		50	100%	108	49	

(評価基準再掲)

総評点数	46点以上	41点以上	36点以上	35点以下
評価	S	A	B	C
評価基準	適正に管理運営が行われており,優れた実績をあげている。	適正に管理運営が行われている。	概ね適正であるが,一部改善を期待する。	改善が必要である。